

こどもの目線になってわかること
「ものがたり」の家具。

おとなとこどもの目線では
家具のスケール感は異なります。

「おとななるベンチ」は座板が音盤になっています。

たまには椅子から床に腰を下ろして
こどもの演奏を聴いてあげましょう。

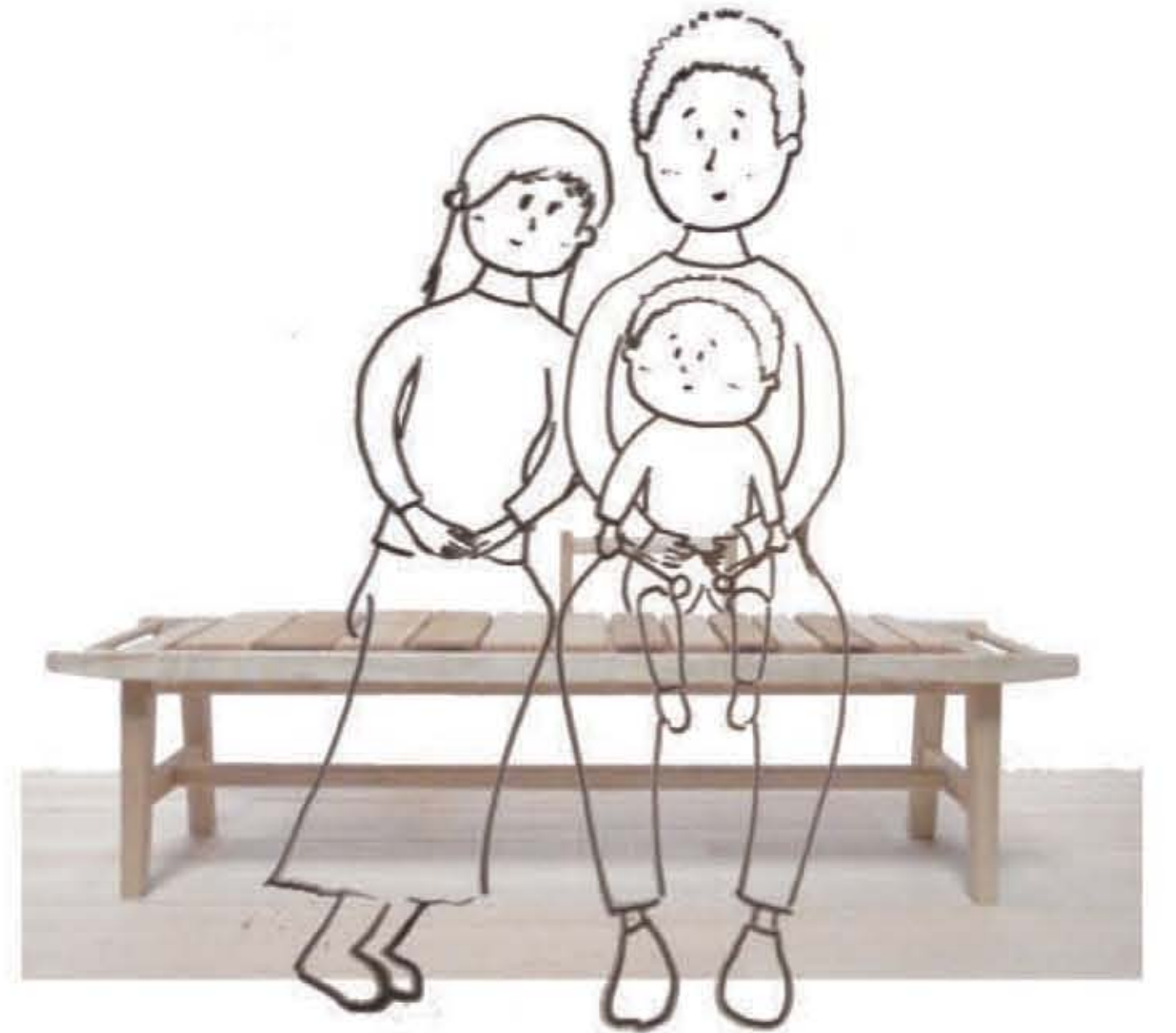
それを未来のこどもにもしてあげましょう。

こどもの頃にしてもらったことを未来のこどもにもしてあげる
そうやって「ものがたり」は受け継がれてきました。

100年先まで持つ家具をつくるだけではなく

100年先まで続く

家具との関わり方、家族との関わり方、森との関わり方の提案です。



おとななるベンチ。

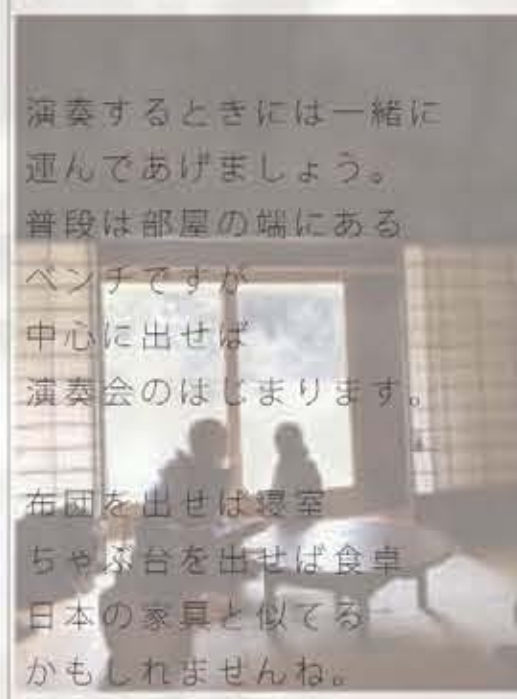


背もたれは譜面台になります。



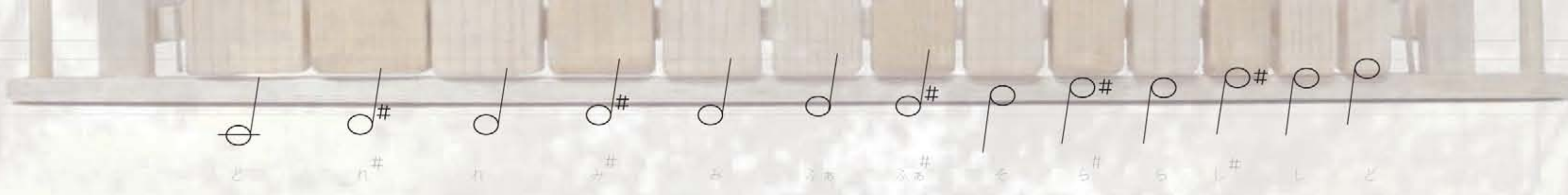
また、端っこにはマレットを置くことができます。

目線を変えればいろんなことができます。



演奏するときには一緒に運んであげましょう。普段は部屋の端にあるベンチですが中心に出せば演奏会のはじまります。

布団を出せば寝室、ちゃぶ台を出せば食卓、日本の家具と似て居るかもしれませんね。

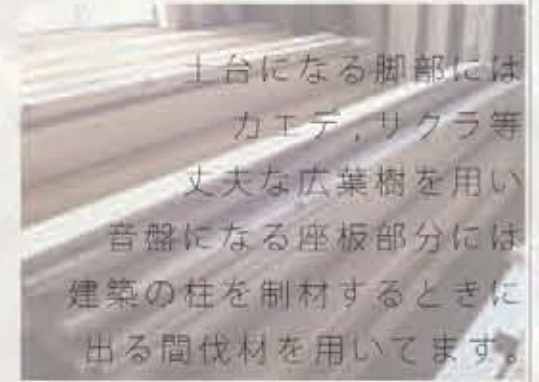


こどもの目線に「なる」とわかることがあります。

きっと

未来だってそうです。

こどもの目線に「なる」ことはおとなだからできることです。



土台になる脚部にはカエデ、サクラ等丈夫な広葉樹を用い音盤になる座板部分には建築の柱を制材するときに出る間伐材を用いています。



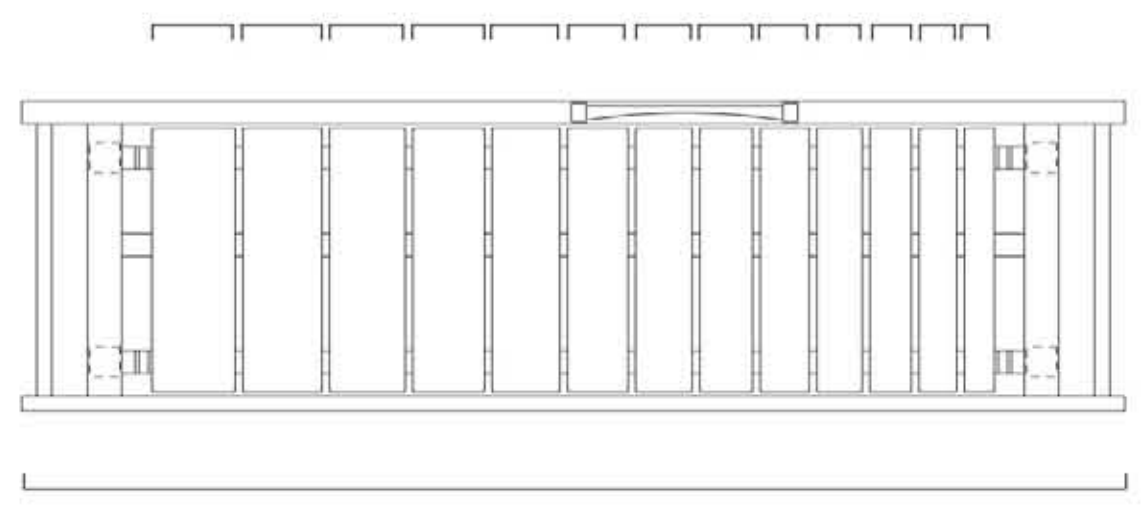
座面の傷が気になったり音が悪くなったときには座板部分を取り替えることができます。



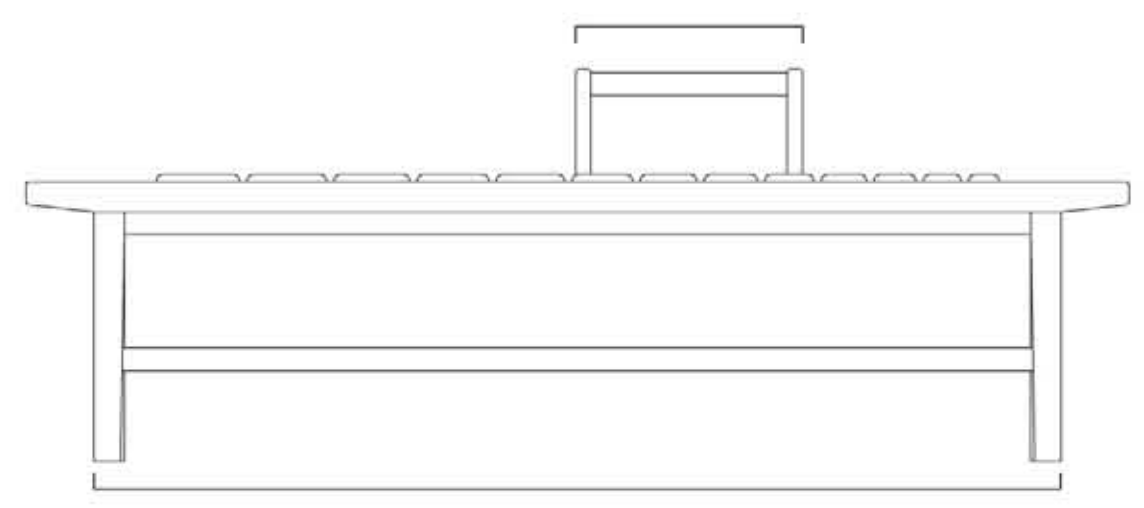
木を使うことで森を育てられます。いっしょに脚部も診てもらってはでしょうか。木は生きています。手入れだって大事です。



音盤の幅を変えることで音盤下部を擦り込むことで微音階をつけています。



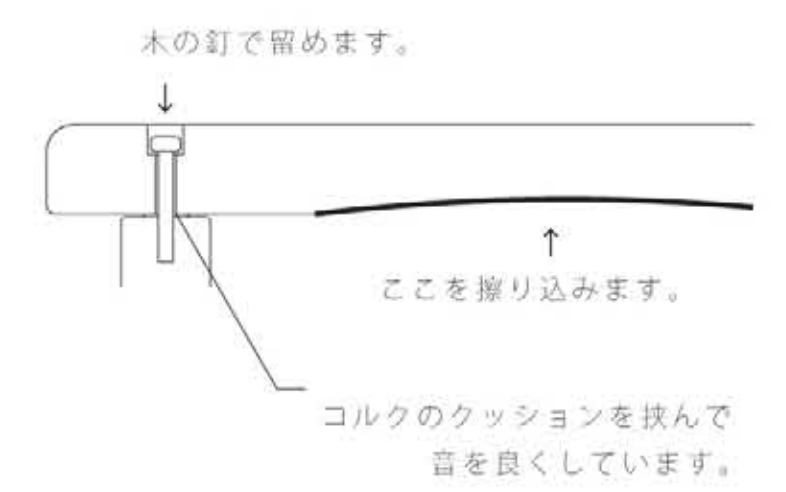
1/10



1/10



1/10



木の釘で留めます。

ここを擦り込みます。

コルクのクッションを挟んで音を良くしています。